

2019 年度事業報告書

I. 2019 年度事業概要

2019 年 3 月 22 日開催の理事会で決議された 2019 年度事業計画にもとづき、研究開発助成、国際交流助成、医療貢献活動助成、褒賞、中高生への普及啓発などの事業を予定通り実施した。なお、3 月 10 日に開催を予定していた 2019 年度贈呈式は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み開催を中止した。

II. 公益目的事業

1. 研究開発助成

(1) 研究開発助成（国内）

医療現場において新しい価値を提供する研究開発を対象として、4 月 1 日から 6 月 30 日まで募集をした結果、319 件の応募があった。選考委員による書類選考を経て 11 月 14 日に選考委員会を開催して選考を行った。また、2018 年度及び 2017 年度に採択された特定研究開発助成及び 2018 年度より新設された開発助成の継続審査も併せて実施し、11 月 26 日の理事会において 92 件の採択及び 7 件の継続助成が承認された。募集領域毎の採択件数、助成金額は下記の通り。

募集領域	金額 (万円)	採択数 (件)	合計額 (万円)
I 特定研究開発助成	1,000	1	1,000
II. 開発助成			
① 医療機器開発	400	5	3,200
② 再生医療開発		3	
III. 研究助成			
① 医療機器研究	200	14	15,200
② 再生医療研究		7	
③ バイオマテリアル研究		9	
④ 生理活性物質・生体成分研究		27	
⑤ 予防医療・健康寿命延伸研究		19	
⑥ 看護研究	100	4	700
⑦ 医療安全・レギュラトリーサイエンス研究		3	
特定研究開発助成（継続分）	1,000	2	2,000
開発助成（継続分）	400	5	2,000
合計		99	24,100

(2) 研究開発助成（海外）

開発途上国で実施される、当該地域の医療、公衆衛生の改善に貢献する研究開発者を対象

に、5月17日から8月30日まで募集をした結果、3件の応募があった。選考委員による書類選考を経て11月19日に選考委員長が2件を採択し、また2018年度採択の継続案件2件についても選考委員長により継続の判断がなされ、11月26日の理事会で承認された。

・採択数：2件、継続：2件 助成金額：計1,200万円

2. 国際交流助成

(1)2019年度分の採択及び助成金の交付

2019年4月～2020年3月に開催される生命科学にかかる科学技術に関する研究を目的として実施される研究集会を対象とし、集会助成と小規模研究会助成の2つの区分にて4月1日から4月30日まで募集をした結果、合わせて34件の応募があった。選考委員による書類選考を経て、5月29日に選考委員長が34件全件を採択し、6月3日の理事会で承認された。

・集会助成 採択数：17件、助成金額：計850万円

・小規模研究会助成 採択数：17件、助成金額：計780万円

なお、3月開催予定であった集会の内、1件については、新型コロナウイルスの感染拡大防止による自粛より開催の中止が決定され助成金（50万円）の返還を受けた。

(2)2020年度分の採択

次年度から開始する募集期間の二期化に対応し、2020年度前期（4月～9月）に開催される研究集会を対象に1月6日から2月7日まで募集を行った結果、15件の応募があった。選考委員による書類選考を経て、3月10日に選考委員長が15件全件を採択し、3月19日の理事会で承認された。

・集会助成 採択数：6件、助成金額：計300万円

・小規模研究会助成 採択数：9件、助成金額：計450万円

3. 医療貢献活動助成

国内および開発途上国において、疾病・医療に関する普及啓発活動や医療・保健の水準向上を目的とした活動を行なっている団体を対象に、5月17日から9月30日まで募集した結果、24件の応募があった。選考委員による書類選考を経て12月3日に選考委員長が17件を採択し、12月20日の理事会で承認された。

・採択数：17件、助成金額：計1,666万円 なお、決定後、活動中止の申し出につき、交付取消（1団体/71.5万円）を行った。

4. 普及啓発

(1)中高生向け生命科学 Web サイト「生命科学 DOKIDOKI 研究室」の運営

下記の4つの企画を計11回更新した。また、閲覧数の増加を目的に、twitterによるプロモーションを実施するとともに、約2万部の生徒向け無料ノートを制作し、全国の高校31校へ配布した(9月11日)。

1)フクロウ博士の森の教室

- 2)いま注目の最先端研究・技術探検
- 3)この人にきく「生命科学に関わる仕事っておもしろいですか」
- 4)中高生が第一線の研究者を訪問「これから研究の話しをしよう」

(2)第 8 回サイエンスカフェ 2019 の実施

7 月 26 日、27 日の 2 日間、全国より高校生 29 名（13 都道府県、15 校）を招待し、東京女子医科大学・早稲田大学連携 先端生命医科学研究施設「TWIns」の協力のもと、第 8 回サイエンスカフェ 2019 を実施した。

- 1) 会場 1 日目：ホテルグランドヒル市ヶ谷、2 日目：TWIns
- 2) 内容 1 日目：最先端生命科学に関する講義、懇親会
2 日目：TWIns 施設見学及び実習、質疑応答

(3)「第 3 回小中高生と最先端研究者とのふれ合いの集い」への協賛

7 月 15 日に開催された大隅基礎科学創生財団主催の上記イベントに協賛し、Web サイト「生命科学 DOKIDOKI 研究室」を紹介する展示ブースを出展した。

(4)書籍の発行

「いのちの不思議を考えよう」シリーズ第 4 弾 「いのちを科学する仕事」を発刊した。

5. 褒賞（第 8 回テルモ財団賞）

研究開発助成の研究領域のうち、以下の研究領域の 2014 年から 2016 年までの採用分を対象に募集を行った結果、11 件の応募があった。選考委員による書類選考を経て 11 月 14 日の選考委員会での選考の結果、候補者 1 名を採択し、11 月 26 日の理事会で受賞者 1 名を決定した。副賞 500 万円。

1) 募集対象研究領域

- ・治療のための医療機器・装置・ICT・素材の研究開発
- ・診断、介護のための医療機器・装置・ICT・素材の研究開発
- ・医療機器の要素技術の研究開発

2) 受賞者及び研究テーマ：

名古屋大学 環境医学研究所 分子代謝医学分野 教授 菅波孝祥 氏

「グルコース応答性スマートゲルを用いた人工臓器デバイスの開発」

Ⅲ. 管理業務

1. 理事会・評議員会

(1)理事会

開催日	議案他
6月3日	第1号議案 2018年度 事業報告書及び計算書類の承認 第2号議案 規定・規則の廃止 第3号議案 規程・規則の改訂 第4号議案 評議員会招集の決定 第5号議案 テルモ株式会社第104期定時株主総会において、株主としての議決権行使を理事長に一任する件 第6号議案 2019年度国際交流助成金助成先の決定 (上記6議案の審議結果：原案の通り承認) 報告事項：代表理事、業務執行理事の職務執行状況の報告
6月26日	第1号議案 常務理事の選定 (上記1議案の審議結果：原案の通り承認)
11月26日	第1号議案 2019年度研究開発助成(国内)助成先の決定 第2号議案 2019年度研究開発助成(海外)助成先の決定 第3号議案 第8回テルモ財団賞受賞者の決定 (上記3議案の審議結果：原案の通り承認)
12月20日	第1号議案 2019年度 医療貢献活動助成 助成先の決定 (上記1議案の審議結果：原案の通り承認)
3月19日	第1号議案 2020年度事業計画書、資金調達及び設備投資の見込み、収支予算書 第2号議案 2020年度国際交流助成(前期分)助成先の決定 第3号議案 財団ロゴマーク商標登録の件 第4号議案 学術委員5名の選任 第5号議案 研究開発助成選考委員20名の選任 第6号議案 テルモ財団賞選考委員17名の選任 第7号議案 国際交流助成選考委員5名の選任 第8号議案 医療貢献活動助成選考委員2名の選任 (上記8議案の審議結果：原案の通り承認) 報告事項：代表理事、業務執行理事の職務執行状況の報告

(2)評議員会

開催日	議案他
6月24日	第1号議案 2018年度計算書類の承認(2018年度事業報告を含む) 第2号議案 理事1名選任 第3号議案 評議員1名選任 第4号議案 規程・規則の改訂 (上記4議案の審議結果：原案の通り承認) 報告事項：2019年度事業計画、収支予算書について

2. 行政庁関係事項

内容（届出先）	申請/届出の年月日
財団名及び定款変更登記（法務局）	2019年4月1日
財団名変更届、定款及び登記事項証明書の提出（内閣府）	2019年4月9日
2018年度事業報告書、財務諸表等の提出（内閣府）	2019年6月28日
役員の変更登記（法務局）	2019年7月3日
役員等の報酬の支給基準の変更（内閣府）	2019年7月22日
理事、評議員の氏名の変更届（内閣府）	2019年9月3日
令和元年分給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表の提出（小田原税務署）	2020年1月23日
2019年度事業計画等の提出（内閣府）	2020年3月30日

3. その他活動

内容
財団ホームページのリニューアル（7/1）
令和元年台風19号災害に対し、日本赤十字社を通じ義援金を拠出（11/20）
ロゴマークの制定（3/19）

以上

事業報告の附属明細書

事業報告に関して、法人法施行規則第 34 条 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。